

令和6年度 第6回 東よか干潟交流塾

陸域・沖合(東シナ海)域からの栄養塩の

流入量を見積る

講師: 佐賀大学理工学部 教授 大串 浩一郎さん

2025. 2. 22 (土) 13:30~15:00

会場: 東よか干潟ビジターセンター ひがさす

対象: 有明海の環境に興味のある方

定員: 25名程度 ※参加決定者には連絡します。(応募者多数の場合は抽選)

申込期限: 2月14日(金) 参加費: 無料

講演内容

有明海は面積約1,700 km²の半閉鎖性内湾です。有明海の生態系における一次生産やノリの養殖に欠かせないものが窒素やリンなどの栄養塩です。有明海を取り囲む河川流域は面積約8,420km²であり、多くの河川から栄養塩が流入します。本講演では、有明海に流入する陸域からの栄養塩の流入量推定についての研究をご紹介します。次に陸域以外の供給源の一つとして外海(東シナ海)からの栄養塩の流入の見積りについてお話します。

講師プロフィール

佐賀県杵島郡白石町出身
学位: 博士(工学)(1992年 九州大学)、専門: 水工学・水理学・河川工学、研究テーマ: 在来知としての伝統的治水技術の評価、有明海流入河川の負荷特性、衛星画像を用いた有明海水環境評価、移流拡散方程式の高精度数値解析など、近年の講演タイトル: 「流域治水」の視点で改めて日本の治水の歴史を考える／筑後川と有明海の特性について(水質・干潟特性)／佐賀平野の治水を考える／R3年六角川氾濫の状況とこれからの流域対策について、など

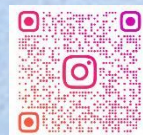


問合せ先・申し込み

東よか干潟ビジターセンター ひがさす
〒840-2222 佐賀市東与賀町田中 2757 番地 4
電話: 0952-37-0515
FAX: 0952-37-0548
mail: higasasu@city.saga.lg.jp



▲ひがさすHP



▲Instagram